



2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

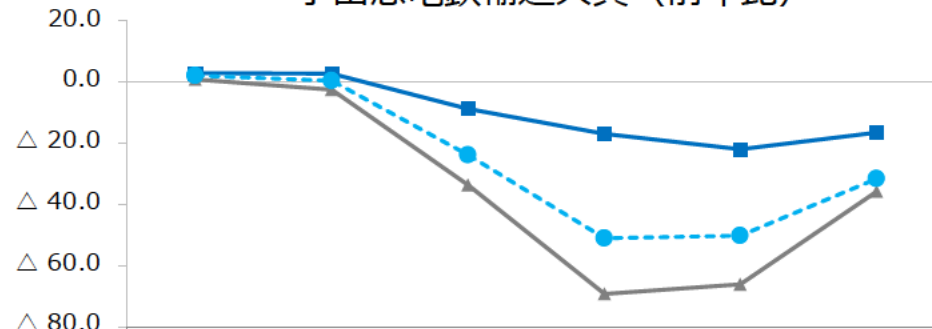
2020年7月31日

各事業の状況（4月～6月）

運輸業

- 小田急電鉄 鉄道業
通常運行（5月土休日特急運休）
- バス
一部ダイヤ変更
高速バス路線など一部運休
- 箱根観光船
4/10～5/31運休
6/1～減便ダイヤ
- 箱根ロープウェイ
4/10～5/29運休
5/30～通常運行

小田急電鉄輸送人員（前年比）

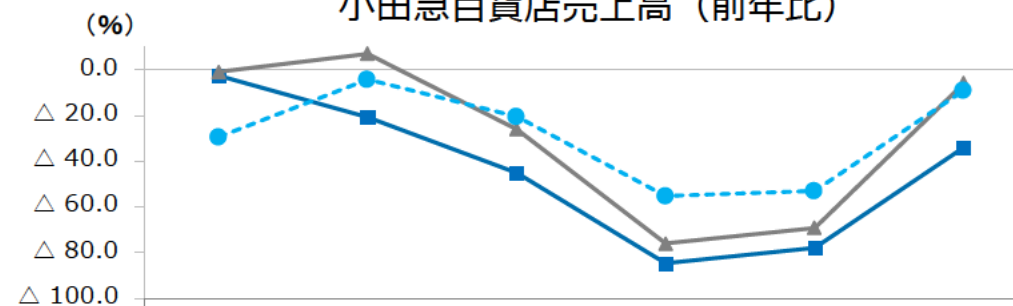


	4～1月	2月	3月	4月	5月	6月
■ 通勤定期	3.1	2.7	△ 8.7	△ 17.0	△ 22.0	△ 16.4
■ 定期外	1.0	△ 2.5	△ 33.6	△ 69.3	△ 66.2	△ 35.7
■ 定期・定期外計	2.1	0.5	△ 23.9	△ 51.1	△ 50.3	△ 31.5

流通業

- 小田急百貨店
4/8～5/25臨時休業(食品フロア除く)
5/26～営業時間短縮し全フロア営業
- ストア・小売業
ストア店舗：営業時間短縮
駅構内店舗：緊急事態宣言期間を中心に臨時休業

小田急百貨店売上高（前年比）



	3～1月	2月	3月	4月	5月	6月
■ 新宿店店頭	△ 2.5	△ 20.7	△ 45.1	△ 84.6	△ 77.9	△ 33.8
■ 町田店	△ 1.0	7.1	△ 26.0	△ 75.9	△ 69.0	△ 5.8
■ ふじさわ	△ 29.5	△ 4.3	△ 20.5	△ 55.2	△ 52.9	△ 9.0

※町田店・ふじさわは、19年3月にリニューアルを実施

各事業の状況（4月～6月）

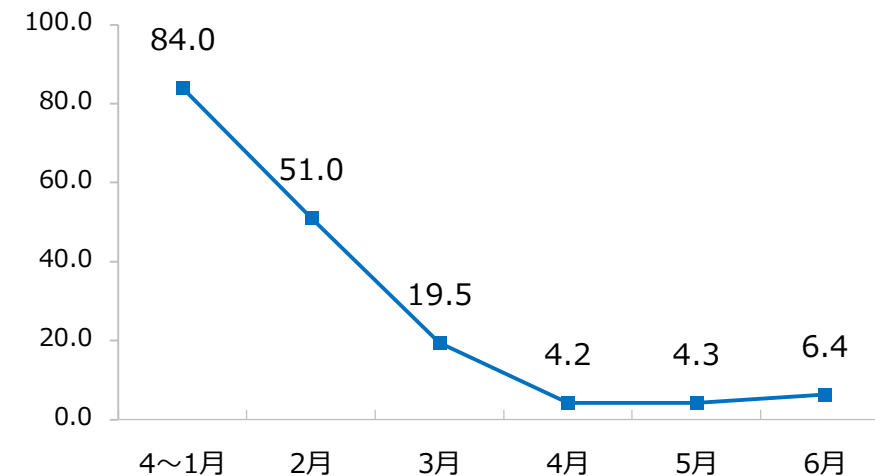
不動産業

- 不動産分譲業
緊急事態宣言期間を中心に販売センターや仲介店舗を臨時休業
- 不動産賃貸業
商業施設
4/8～5/31臨時休業（一部施設・店舗を除く）
6/1～営業時間短縮し営業再開

その他の事業

- ホテル
シティホテル（ハイアットリージェンシー 東京、ホテルセンチュリーサザンタワー）
宿泊は通常営業
箱根リゾートホテル（山のホテル、箱根ハイランドホテル、ホテルはつはな）
4/26～5/31臨時休業
6/1～宿泊は通常営業
- レストラン
緊急事態宣言期間を中心に臨時休業

ハイアットリージェンシー 東京
宿泊稼働率



単位：百万円	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減
営業収益	129,150	70,366	△58,783 (△45.5%)
運輸業	45,660	22,583	△23,077
流通業	52,207	29,588	△22,618
不動産業	13,601	11,619	△1,982
その他の事業	26,270	13,116	△13,154
調整額	△8,590	△6,540	+2,049
営業利益	13,766	△14,482	△28,249 (-)
運輸業	9,767	△10,932	△20,699
流通業	819	△1,393	△2,213
不動産業	2,110	2,775	+664
その他の事業	1,053	△4,944	△5,998
調整額	15	12	△2
経常利益	14,011	△15,664	△29,676 (-)
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,015	△16,319	△25,335 (-)

<営業外・特別損益>

単位：百万円	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期		増減・主な要因
営業外収益	2,208	1,745	△462	
営業外費用	1,963	2,927	+964	
特別利益	865	855	△9	工事負担金等受入額 362 (△468)
特別損失	1,396	2,995	+1,599	固定資産圧縮損 301 (△520) 臨時休業による損失 2,475 (+2,475) ※

※ 緊急事態宣言に伴う臨時休業期間中に発生した償却費・賃借料等の固定費を「臨時休業による損失」として特別損失に計上

(参考) 臨時休業による損失の内訳

(百万円)

運輸業	243
流通業	1,194
不動産業	460
その他の事業	576
合計	2,475

<連結貸借対照表>

単位：百万円	2019年度	2020年度 第1四半期	増減・主な要因
流動資産	131,791	164,779	+ 32,988
固定資産	1,196,512	1,198,249	+ 1,737
資産合計	1,328,303	1,363,029	+ 34,725 現金及び預金 +45,458 受取手形及び売掛金 △8,734
流動負債	377,494	376,480	△1,014
固定負債	560,626	615,480	+ 54,854
負債合計	938,120	991,960	+ 53,840 有利子負債 +80,369 支払手形及び買掛金 △12,009
純資産合計	390,183	371,068	△19,114 利益剰余金 △19,975
負債純資産合計	1,328,303	1,363,029	+ 34,725

(参考) その他の財務情報

単位：百万円	2019年度	2020年度 第1四半期	増減
現金及び預金	28,594	74,053	+45,458
有利子負債	741,027	821,396	+80,369
自己資本比率	29.1%	27.0%	△2.1P

単位：百万円	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減・主な要因	
営業収益	45,660	22,583	△23,077 (△50.5%)	
鉄道業	34,699	17,169	△17,530	(△)外出自粛による利用者減 (△)台風19号による箱根登山鉄道一部区間運休
バス業	9,743	5,618	△4,125	(△)外出自粛による利用者減 (△)一部ダイヤ変更・運休
その他	2,153	708	△1,444	(△)4/10~5/29箱根ロープウェイ運休 (△)4/10~5/31箱根観光船運休
調整額	△935	△913	+22	
営業利益	9,767	△10,932	△20,699 (-)	
鉄道業	8,828	△7,696	△16,525	
バス業	779	△2,757	△3,537	
その他	187	△752	△939	
調整額	△27	274	+302	(+)臨時休業中固定費を特別損失へ振替

<フリーパス売上枚数 (対前年) >

箱根フリーパス	△92.9%
江の島・鎌倉フリーパス	△97.1%

<箱根地区各社輸送人員 (対前年) >

箱根登山鉄道(鉄道)	△70.5%
箱根登山鉄道(ケーブルカー)	△85.6%
箱根ロープウェイ	△88.4%
箱根観光船	△92.0%
箱根登山バス(乗合業)	△54.1%

<箱根エリアの営業収益 (対前年) >

単位：百万円	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減
箱根エリア※	5,341	1,145	△4,196
箱根登山鉄道 (鉄道業)	822	182	△640

※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています

<小田急旅行センター利用者数 (対前年) >

乗車券等の購入者	△99.8%
----------	--------

(参考)・箱根大涌谷周辺の噴火警戒レベル引き上げにより、2019年5月19日より箱根ロープウェイ運休 (2019年10月26日より全線で運転再開)
・台風19号の影響により、2019年10月12日より箱根登山鉄道の箱根湯本駅～強羅駅間運休 (2020年7月23日より全線で運転再開)

<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

単位：千人	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減
定期	125,221	79,717	△45,504 (△36.3%)
通勤定期	87,415	71,230	△16,185 (△18.5%)
通学定期	37,806	8,487	△29,319 (△77.6%)
定期外	75,100	31,949	△43,151 (△57.5%)
合計	200,321	111,666	△88,655 (△44.3%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減
定期	12,424	8,347	△4,076 (△32.8%)
通勤定期	10,465	7,996	△2,468 (△23.6%)
通学定期	1,958	350	△1,607 (△82.1%)
定期外	18,156	6,907	△11,249 (△62.0%)
旅客運輸収入計	30,580	15,254	△15,325 (△50.1%)
運輸雑収	973	802	△170 (△17.6%)
運輸収入合計	31,553	16,056	△15,496 (△49.1%)

■ 営業費

単位：百万円	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減
営業費 合計	23,272	22,636	△636
人件費	7,087	6,645	△441
修繕費	1,148	1,280	+132
動力費	1,450	1,311	△139
固定資産除却費	242	225	△16
減価償却費	5,999	6,081	+81
その他	7,343	7,092	△251

単位：百万円	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減・主な要因	
営業収益	52,207	29,588	△22,618 (△43.3%)	
百貨店業	34,949	15,450	△19,498	(△)4/8~5/25臨時休業（食品フロア除く） (△)外出自粛による利用者減
ストア・小売業	16,923	15,061	△1,862	(△)駅構内コンビニ利用者減、臨時休業 (+)内食需要増に伴うストア利用者増
その他	1,950	1,727	△223	
調整額	△1,616	△2,651	△1,034	
営業利益	819	△1,393	△2,213 (-)	
百貨店業	1,528	△2,275	△3,804	
ストア・小売業	69	△248	△317	
その他	△40	△78	△38	
調整額	△737	1,209	+1,947	(+)臨時休業中固定費を特別損失へ振替 (+)白鳩のれん追加償却反動

<百貨店業：営業収益内訳（実績・対前年）>

百貨店業	新宿店	8,412	(△64.8%)
	店頭	7,175	(△68.5%)
	町田店	3,295	(△55.9%)
	ふじさわ	851	(△42.3%)
	その他	2,890	(+39.9%)
	合計	15,450	(△55.8%)

<百貨店業：免税売上高（対前年）>

新宿店	△91.6%
-----	--------

<ストア・小売業：小田急商事 ストア部門売上高（対前年）>

全店	+5.5%
既存店	+4.5%

単位：百万円	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減・主な要因	
営業収益	13,601	11,619	△1,982 (△14.6%)	
不動産分譲業	3,650	2,816	△833	(△)販売戸数減
不動産賃貸業	10,669	13,506	+2,837	(△)商業施設臨時休業に伴う賃料減免 (+)会社分割による影響※
調整額	△718	△4,704	△3,986	(△)会社分割による影響※
営業利益	2,110	2,775	+664 (+31.5%)	
不動産分譲業	△991	39	+1,031	(+)当社分譲用地売却
不動産賃貸業	3,101	2,268	△832	
調整額	0	467	+466	(+)臨時休業中固定費を特別損失へ振替

<分譲業：小田急不動産 販売戸数>

単位：戸・区画	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減
戸建	9	7	△2
マンション	12	4	△8
土地	5	8	+3
合計	26	19	△7

※ 2020年4月に小田急電鉄(株)は商業施設運営事業を会社分割し、(株)小田急SCディベロップメントを設立

<会社分割による影響>

不動産賃貸業	13,506
小田急電鉄 (うち小田急SCディベロップメントからの賃料収入)	3,989
小田急SCディベロップメント (テナントからの賃料収入)	5,063
その他	4,454
調整額	△4,704
小田急電鉄 (小田急SCディベロップメントからの賃料収入)	△3,989
その他	△715

グループ内取引のため消去

セグメント情報（その他の事業）



単位：百万円	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減・主な要因	
営業収益	26,270	13,116	△13,154 (△50.1%)	
ホテル業	7,899	1,790	△6,108	(△)4/26~5/31箱根リゾートホテル臨時休業 (△)外出自粛による利用者減
レストラン業	5,114	1,578	△3,536	(△)臨時休業 (△)外出自粛による利用者減
その他	14,847	10,322	△4,524	(△)外出自粛による利用者減（旅行業等） (△)リゾート人材派遣需要減
調整額	△1,591	△575	+1,015	
営業利益	1,053	△4,944	△5,998 (-)	
ホテル業	209	△3,484	△3,693	
レストラン業	100	△1,441	△1,542	
その他	908	△477	△1,385	
調整額	△164	458	+623	(+)臨時休業中固定費を特別損失へ振替

<ホテル業：外国人宿泊者比率>

	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	対前年
ハイアット リージェンシー 東京	79.2%	19.7%	△59.5P
ホテルセンチュリーサザンタワー	74.1%	0.6%	△73.5P

<ホテル業：客室稼働率>

	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	対前年
ハイアット リージェンシー 東京	86.1%	5.0%	△81.1P
ホテルセンチュリーサザンタワー	92.5%	4.3%	△88.2P
山のホテル	80.4%	26.7%	△53.7P
箱根ハイランドホテル	74.4%	25.2%	△49.2P
ホテルはつはな	82.9%	31.5%	△51.4P

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大第2波等に起因する再度の緊急事態宣言が発出されず、感染症対策の継続等により現状の事業環境が継続できることを前提としています。
- ・参考として、下記に当初想定と比較した回復見込の推移をセグメントごとに示しています。

(参考)

運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小田急電鉄 鉄道業 9月まで6月と同水準で推移し、その後回復基調になり3月時点で当初想定 of 9割程度まで回復 ■ バス業 3月時点で当初想定 of 9割程度まで回復 ■ 箱根（交通各社） 3月時点で当初想定 of 7割程度まで回復
流通業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 百貨店業 当初想定 of 8割程度で推移 ■ ストア・小売業 2月時点で当初想定程度まで回復
不動産業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 不動産賃貸業 当初想定 of 8割程度で推移
その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホテル業 3月時点で当初想定 of 6割程度まで回復 ■ レストラン業 3月時点で当初想定 of 8割程度まで回復

※ 実際の感染拡大の状況や消費動向等により当業績予想は大きく変動する可能性があります。
今後の動向を踏まえ、当業績予想について再度修正が必要となる場合には速やかに開示します。

単位：百万円	2019年度	2020年度	増減
営業収益	534,132	400,600	△133,532 (△25.0%)
運輸業	173,174	127,600	△45,574
流通業	206,563	164,000	△42,563
不動産業	80,478	67,800	△12,678
その他の事業	112,256	70,200	△42,056
調整額	△38,340	△29,000	+9,340
営業利益	41,103	△28,400	△69,503 (-)
運輸業	21,641	△20,900	△42,541
流通業	4,373	△4,200	△8,573
不動産業	12,940	13,200	+259
その他の事業	2,090	△16,600	△18,690
調整額	58	100	+41
経常利益	38,299	△33,100	△71,399 (-)
親会社株主に帰属する当期純利益	19,923	△32,100	△52,023 (-)
減価償却費	49,628	51,900	+2,271
設備投資額	91,599	78,800	△12,799
有利子負債残高	741,027	814,600	+73,572

セグメント別業績予想（運輸業）



単位：百万円	2019年度	2020年度	増減・主な要因	
営業収益	173,174	127,600	△45,574 (△26.3%)	
鉄道業	132,083	97,700	△34,383	(△)外出自粛による利用者減
バス業	37,787	28,800	△8,987	(△)外出自粛による利用者減
その他	7,677	5,100	△2,577	
調整額	△4,373	△4,000	+373	
営業利益	21,641	△20,900	△42,541 (-)	
鉄道業	22,043	△11,100	△33,143	
バス業	32	△8,000	△8,032	
その他	△450	△2,100	△1,649	
調整額	16	300	+283	(+)臨時休業中固定費を特別損失へ振替
減価償却費	32,392	33,500	+1,107	
設備投資額	40,940	38,500	△2,440	

<箱根エリアの営業収益（対前年）>

単位：百万円	2019年度	2020年度	増減
箱根エリア*	17,708	10,823	△6,884
箱根登山鉄道 （鉄道業）	2,670	1,761	△909

※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています

セグメント別業績予想（運輸業）



<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

単位：千人	2019年度	2020年度	増減			
			上期	下期		
定期	477,738	374,147	△103,591	(△21.7%)	(△32.9%)	(△9.0%)
通勤定期	349,361	309,039	△40,322	(△11.5%)	(△18.1%)	(△4.6%)
通学定期	128,377	65,108	△63,269	(△49.3%)	(△68.9%)	(△22.7%)
定期外	287,589	211,588	△76,001	(△26.4%)	(△44.1%)	(△6.9%)
合計	765,327	585,735	△179,592	(△23.5%)	(△37.1%)	(△8.2%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2019年度	2020年度	増減			
			上期	下期		
定期	48,354	38,696	△9,658	(△20.0%)	(△30.5%)	(△8.5%)
通勤定期	41,755	35,645	△6,109	(△14.6%)	(△22.7%)	(△6.1%)
通学定期	6,599	3,050	△3,549	(△53.8%)	(△74.3%)	(△25.8%)
定期外	68,951	48,465	△20,486	(△29.7%)	(△48.6%)	(△8.6%)
旅客運輸収入計	117,306	87,161	△30,145	(△25.7%)	(△41.2%)	(△8.5%)
運輸雑収	3,798	3,196	△602	(△15.9%)	(△16.7%)	(△15.1%)
運輸収入合計	121,105	90,357	△30,747	(△25.4%)	(△40.4%)	(△8.8%)

■ 営業費

単位：百万円	2019年度	2020年度	増減
営業費 合計	98,801	98,172	△629
人件費	28,393	28,690	+297
修繕費	8,603	7,571	△1,031
動力費	5,879	5,541	△337
固定資産除却費	1,391	1,007	△383
減価償却費	24,628	25,234	+605
その他	29,906	30,126	+220

セグメント別業績予想（流通業）



単位：百万円	2019年度	2020年度	増減・主な要因	
営業収益	206,563	164,000	△42,563 (△20.6%)	
百貨店業	136,775	100,900	△35,875	(△)臨時休業（食品フロア除く） (△)外出自粛による利用者減
ストア・小売業	68,258	64,400	△3,858	(△)駅構内コンビニ利用者減、臨時休業
その他	8,022	7,900	△122	
調整額	△6,492	△9,200	△2,707	
営業利益	4,373	△4,200	△8,573 (-)	
百貨店業	4,391	△3,800	△8,191	
ストア・小売業	154	△1,000	△1,154	
その他	△134	△300	△165	
調整額	△37	900	+937	(+)臨時休業中固定費を特別損失へ振替
減価償却費	3,791	4,100	+308	
設備投資額	5,498	6,800	+1,301	

セグメント別業績予想（不動産業）



単位：百万円	2019年度	2020年度	増減・主な要因	
営業収益	80,478	67,800	△12,678 (△15.8%)	
不動産分譲業	40,902	30,000	△10,902	(△)販売戸数減
不動産賃貸業	44,044	55,400	+11,355	(△)商業施設臨時休業に伴う賃料減免 (+)会社分割による影響※
調整額	△4,468	△17,600	△13,131	(△)会社分割による影響※
営業利益	12,940	13,200	+259 (+2.0%)	
不動産分譲業	866	600	△266	
不動産賃貸業	11,315	11,800	+484	
調整額	758	800	+41	
減価償却費	9,374	9,900	+525	
設備投資額	29,547	28,100	△1,447	

<分譲業：小田急不動産 販売戸数>

※ 2020年4月に小田急電鉄(株)は商業施設運営事業を会社分割し、(株)小田急SCディベロップメントを設立

単位：戸・区画	2019年度	2020年度	増減
戸建	125	95	△30
マンション	268	182	△86
土地	22	39	+17
合計	415	316	△99

セグメント別業績予想（その他の事業）



単位：百万円	2019年度	2020年度	増減・主な要因	
営業収益	112,256	70,200	△42,056 (△37.5%)	
ホテル業	31,839	14,200	△17,639	(△)外出自粛による利用者減
レストラン業	19,458	12,900	△6,558	(△)臨時休業 (△)外出自粛による利用者減
その他	67,784	46,200	△21,584	(△)外出自粛による利用者減（旅行業等） (△)リゾート人材派遣需要減
調整額	△6,826	△3,100	+3,726	
営業利益	2,090	△16,600	△18,690 (-)	
ホテル業	△2,070	△12,000	△9,929	
レストラン業	△136	△2,800	△2,663	
その他	4,954	△1,900	△6,854	
調整額	△657	100	+757	
減価償却費	4,151	4,500	+348	
設備投資額	15,612	5,400	△10,212	

(参考) 上期 連結業績予想



単位：百万円	2019年度 上期	2020年度 上期	増減
営業収益	261,766	168,700	△93,066 (△35.6%)
運輸業	91,364	53,400	△37,964
鉄道業	69,738	40,600	△29,138
バス業	19,613	12,800	△6,813
その他	3,951	2,000	△1,951
調整額	△1,938	△2,000	△61
流通業	103,270	72,900	△30,370
百貨店業	68,450	41,700	△26,750
ストア・小売業	33,973	31,000	△2,973
その他	4,081	3,800	△281
調整額	△3,234	△3,600	△365
不動産業	30,775	25,400	△5,375
不動産分譲業	11,074	7,500	△3,574
不動産賃貸業	21,598	25,100	+3,501
調整額	△1,897	△7,200	△5,302
その他の事業	54,109	29,300	△24,809
ホテル業	15,917	4,600	△11,317
レストラン業	10,176	4,900	△5,276
その他	31,081	21,100	△9,981
調整額	△3,066	△1,300	+1,766
調整額	△17,753	△12,300	+5,453

単位：百万円	2019年度 上期	2020年度 上期	増減
営業利益	25,657	△25,800	△51,457 (-)
運輸業	17,564	△17,600	△35,164
鉄道業	16,635	△11,400	△28,035
バス業	1,166	△5,100	△6,266
その他	△137	△1,400	△1,262
調整額	△99	300	+399
流通業	1,797	△3,900	△5,697
百貨店業	2,599	△3,800	△6,399
ストア・小売業	7	△700	△707
その他	△82	△200	△117
調整額	△727	800	+1,527
不動産業	4,500	5,000	+499
不動産分譲業	△1,576	△900	+676
不動産賃貸業	6,075	5,700	△375
調整額	1	200	+198
その他の事業	1,764	△9,400	△11,164
ホテル業	△287	△6,700	△6,412
レストラン業	128	△1,900	△2,028
その他	2,250	△1,200	△3,450
調整額	△326	400	+726
調整額	30	100	+69

■ご案内

この決算説明資料の他に、決算に関する資料として下記資料を弊社ウェブサイト「決算短信」 (<https://www.odakyu.jp/ir/financial/settle/>) に掲載しています。

- ・ 決算短信
- ・ 決算説明資料（解説付）
- ・ 決算に関するFAQ

■注意事項

スライドに記載されている計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは開示時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。

したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。

小田急電鉄株式会社